

職員の皆さん

令和7年度予算編成スタートにあたっての市政運営の基本的な考え方

すべては市民の皆様の幸せのため。その思いのもと、職員の皆さんとともに、市政を前に進めてきました。

小児医療費無償化や市独自の出産費用助成、小1の壁打破へのチャレンジなどの子育て支援。全国に先駆けて導入する子宮頸がん検診手法をはじめとした総合的ながん対策。「公園のまちヨコハマ」を目指した取組や誰もが出かけやすいインクルーシブなまちづくり、公共空間を積極的に活用した賑わいづくり。DXによる行政課題の解決や利便性の向上。

市民の皆様のニーズに応える「市民目線」の取組が着実に進んでいます。

令和7年度は、中期計画の最終年度です。これまでの前例踏襲や組織の縦割りにとらわれず、市民の皆様のニーズに応えるために何が最善かを考えてください。

子育て世代が求める「ゆとり」のさらなる追求はもちろん、子どもから高齢者まで誰もが自分らしくいきいきと暮らすことができるまちづくり、そして、内外の人や企業が集い、街に活気を生み出す取組を一層進めてください。

「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成やアジアのグリーンハブを目指した取組もさらに加速させなければなりません。そして、市民の皆様の命と暮らしを守る防災・減災対策も一層重要性を増しています。

市役所の熱意とアイデアを結集して、民間の知見やデジタルの力も積極的に取り入れ、横浜ならではの「人にやさしいまち」「世界を魅了する都市」を一緒に創り上げていきましょう。

持続可能な市政運営を実現するためには、「財政ビジョン」「中期計画」「行政運営の基本方針」の3つの市政方針を基軸とし、中長期的な視点に立った「創造・転換」による生産性向上の取組と歳出改革が不可欠です。

行政サービスや行政運営に係るコストは市民の皆様の税金で賄われています。データを有効に活用し、施策の効果の見える化、すなわち客観的に評価できる成果指標の設定と効果検証を通じて、よりよい行政サービスの追求をお願いします。

どうぞよろしくお願いたします。

横浜市長 山中竹春